

# JA だより



—自然のぬくもりと暮らしたくて—

## 第68回 しずない農業協同組合通常総会

枝コミュニケーション

自然のぬくもりと暮らしたくて



第68回 JAしずない通常総会



常務

「大胆な金融緩和と「積極財政」と成長戦略のアーベノミクス政策で、円安・株高などで大企業・富裕層はその恩恵を受けていますが、中小企業には行きわたらず、内需の柱である消費低迷が続いています。

更に税と社会保障制度の一体改革に対する負担増など不安要素も強いことから、国民の貯蓄志向は高まり、地方経済に回復感が戻るには、まだまだ時間を要するものと思われまます。

このような環境の中で、JAと農業を取り巻く環境は、更に厳しさを増し、農協改革法案の成立、また、昨年10月には、TPP大筋合意など我が国の農業史上かつてない程の組織情勢の変化があった1年となりました。

この環境の中で、昨年11月に組合員やJA職員など関係者参加のもと、第28回JA北海道大会が開催され、

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農業」をメインテーマとして向こう3カ年におけるJAグループ、サポーター1550万人づくりに向けた対応方針が策定されました。

当JAにおきましてもそのテーマに沿って取り組んで参りたいと思っております。

当JAの農業に関しては、昨年は、春先の低温から始まりましたが、1年を通じて温暖な気候と災害の無かった1年で、各作目ともに出来秋の良かった年でした。

作目別に見ますと青果につきましては、全体で10億5380万円となり、計画対比で116.3%、前年対比で1億2700万円の増加となりました。

その中でも施設野菜の主力ミニトマトは、数量的には若干の伸びでしたが、価格上昇で昨年を1億2350万円上回り、9億3000万円の取扱となりました。大台の10億も夢ではなくなっております。

特に新規就農者5組で6000万円、新ひだか町の研修ハウス団地で4000万円の出荷が取扱に大きく寄与しています。

また、稲作につきましては、全道作況指数104に対して、日高は103でしたが、良品質米としての製

品率が高く、全量一等米で価格の上昇もあり、計画対比131.8%の2270万円増加で、約9400万円の取扱となりました。

酪農につきましては、乳価の上昇により、前年より1200万円増加の3億5400万円の取扱となりました。

黒毛和牛につきましては、ここ数年続いております素牛の不足感から昨年も1年を通して高価で推移し、売却頭数785頭で、5億3000万円となりました。計画対比で113.0%、前年対比で3500万円の増加となりました。

平均価格においても去勢で73万円、めすで62万6000円と高値が続いており、主要な作目となっております。

平成28年1月末でのこれら農畜産物の取扱合計額は、前年対比で110.2%、金額ベースで2億1630万円増加の23億3680万円となり、取扱高を更新致しました。

当JAの基幹産業である軽種馬については、景気の上昇も伴って、購買者の購買意欲も高まり、1年間通しての北海道市場での静内産馬の販売は、366頭（昨年318頭）で28億520万円（税抜）となり、売却率も前年の65%から昨年は67%と上昇し、前年対比で5億27

4月15日、新ひだか町公民館において「第68回 しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。

冒頭挨拶において、西村和夫代表理事組合長より「昨年を振り返りますと国内経済は、第2次安倍政権の



〇〇万円の売り上げ増加となりました。

今年も更に高値になるよう期待しております。

また、昨年暮れには、静内産馬のダートGI馬が続けて輩出され、今年に弾みが見られるものと期待をするところでです。

当JAの平成28年度の農畜産物の生産基盤強化に向け、経営の複合化や経営規模の拡大と新規就農、担い手対策を進めて参ります。

このために産業奨励事業による支援や新ひだか町の新規就農・担い手対策事業を行政とともに進めて参ります。

今日の取引市場は、良品質な製品を安定的に出荷することを求められていることから、今後も栽培技術の向上により、ブランド化を図り、より強い農業経営を目指して頂きたいと願っております。

地域農業の担い手確保対策については、昨年、新規就農の2期生3組6名の研修生が農業を始めました。

今年度も既に3期生3組6名が就農しております。今後も研修生の積極的な受け入れと農業後継者の育成を図り、農業の担い手の確保に取り組んで参りますので、組合員皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

当JAの各事業については、総会資料に詳しく掲載しておりますが、今年度の決算は、計画を上回る6595万円の剰余金を計上することが出来ました。

このことにより自己資本比率は、前年度末の9・74%から0・42%増加し、10・16%となりました。厳しい経営環境の中、組合員皆様のご理解、ご協力に心より感謝する次第です。

現在、当JAは「要改善JA」の指定を受け、更に平成28年1月からは、JAバンクールの規制が強化されたことから、今日の改善計画を見直し、役員一体となつてJA財務の改善強化に取り組んでいるところでです。

どうか、組合員の皆様には、そのことをご理解、ご支援をお願い致します。

次にJAの合併につきましては、3JAとも財務改善の取り組み中で、その環境が整うまで協議を引き続き行つて参りたいと思っておりますので、ご理解をお願い致します。

最後になりますが、今年度の当JAのテーマとして、農家個々の経営力を強くし、安定した農家経営を目指すため強い農家作りを意識して参りたいと考えております。」と挨拶がありました。



議長には、小池孝義氏、藤川靖仁氏が選出され、上程された10議案全てが原案通り可決となりました。そして、決議事項として提出された「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議(案)」について、落合信幸JAしずない青年部長が朗読し、出席者全員からの満場一致で承認されました。



# 平成28年度 産業奨励事業について

平成28年度の産業奨励事業について、以下の通りご案内致します。

## ■ 事業名 高品質米生産安定対策事業 (事業費：6,829,040円)

■ 事業内容 当地区では、軽種馬生産等の副産物である良質な堆肥、有機肥料及び土壌改良材等を併用した土づくりを基本に環境に優しい農業を励行し、消費者に「安全・安心」で良質な農畜産物の提供によりブランド化を促進し、農家所得の安定化を図る。

■ 対象資材 (1) 有機肥料…①有機885 ②有機150 ③有機260  
(2) 土壌改良材…①ケイカル ②ケイカリン

※上記の有機肥料及び土壌改良材の投入基準は『施肥ガイドブック』を規準とする。

負担区分	栽培区分	町	J A	受益者
	有機質肥料投入栽培	349,000円(12.0%)	678,000円(23.3%)	1,881,080円(64.7%)
	有機質肥料投入特別栽培	784,000円(20.0%)	1,176,000円(30.0%)	1,960,960円(50.0%)
	合計	1,133,000円(16.6%)	1,854,000円(27.1%)	3,842,040円(56.3%)

## ■ 事業名 花卉野菜生産体制強化対策事業 (事業費：52,720,000円)

■ 事業内容 当地区では、施設園芸の中心を担うミニトマトが、長期にわたる出荷体制が整備されつつあり、実需者からの評価も高く、取引価格の安定に繋がっている。しかし、生産資材価格及び燃料費の値上がりにより、農家経営は依然厳しい状況に置かれている。そのような状況を鑑み、ハウス施設及び加温ボイラーに加え、コスト削減に向けた機材の導入等農業施設の整備を進め、産地形成の充実と農家所得の安定化を図る。

■ 対象設備 (1) ハウス施設…①ハウス施設(100坪) 20棟  
(2) ハウス付帯設備…①二重カーテン 20張 ②遮光ネット 10張  
③ハウス施工費 18組 ④灌水部材 18組  
⑤温風ボイラー(10万kcal) 1基 ⑥温風ボイラー(3万kcal) 8基  
⑦温水ボイラー(3万kcal) 3基

負担区分	道	町	J A	受益者
産業奨励事業負担	—	1,394,000円 (25%以内)	1,394,000円 (25%以内)	2,790,000円 (50%)
地域政策負担	18,857,000円 (40%)	2,357,000円 (5%)	2,357,000円 (5%)	23,571,000円 (50%)
総合負担	18,857,000円 (36%)	3,751,000円 (7%)	3,751,000円 (7%)	26,361,000円 (50%)

## ■ 事業名 施設園芸作物生産向上対策事業 (事業費：1,800,000円)

■ 事業内容 当地区では、施設野菜の栽培が盛んに行われているが、雨よけハウスでの栽培のため、床土の地力が衰え、年々作物の収量が減少傾向となりつつある。そのような中で、有機物の投入を持続的に行うことにより、一層の地力増進と品質向上により収量の増加を図り、農家所得の安定化を図る。

■ 対象資材 有機堆肥 (ヒダカノキセキ)

負担区分	道	J A	受益者
負担区分	300,000円(16.7%以内)	420,000円(23.3%)	1,080,000円(60.0%)

■ 事業名 **自給粗飼料生産基盤強化対策事業** (事業費：7,305,000円)

■ 事業内容 当地区は、自給粗飼料生産草地在り狭小なため更新率が低く、収量が低下している状況にある。そのため、作業機械使用料の一部を助成し、更新率を高め、自給粗飼料の収量増加を図る。また、土壌診断に基づいた施肥及び土壌改良材の投入、適正な除草剤散布を行い、良質な自給粗飼料を確保し、農家所得の安定化を図る。

- 対象事業
- |                      |          |           |       |
|----------------------|----------|-----------|-------|
| (1) 草地更新…①炭カル        | 40ha分    | ②ヨーリン     | 40ha分 |
| (2) 除草剤散布…①ラウンドアップ乳剤 | 30ha分    | ②アージラン乳剤  | 15ha分 |
|                      | ③ハーモニー乳剤 |           | 15ha分 |
| (3) 作業機械…①プラオ        | 30ha分    | ②整地(ブル使用) | 30ha分 |
|                      | ③ディスクハロー | ④グラスシーダー  | 30ha分 |
|                      | ⑤鎮圧ローラー  |           | 30ha分 |

負担区分	町	J A	受益者
土地改良材・除草剤負担	600,000円(1/6以内)	926,000円(25.0%)	2,179,000円(58.8%)
作業機械負担	600,000円(1/6以内)	900,000円(25.0%)	2,100,000円(58.3%)
合計	1,200,000円(1/6以内)	1,826,000円(25.0%)	4,279,000円(58.6%)

■ 事業名 **黒毛和牛生産基盤確立対策事業** (事業費：6,250,000円)

■ 事業内容 当地区では、黒毛和牛を重点作目として複合経営への推進を図っている。しかし、新規参入者等にあつては、初期投資額が大きな課題であることから現有施設の有効活用を図り、生産基盤強化と農業所得の安定化を図る。

- 事業対象
- (1) 繁殖素牛…①黒毛和牛素牛生産に係る繁殖素牛導入に対し補助する。  
 ②単年度対象頭数は30頭を基準とする。  
 ③1戸当たり単年度対象頭数は5頭以内とし、飼養繁殖頭数が59頭に達する場合には、その範囲内とする。  
 ④対象農家は、繁殖牛(12ヵ月齢以上)59頭以下の飼養農家とし、基準日は平成28年1月31日基準とする。  
 ⑤1頭当たりの補助対象限度額は400千円とし、補助額は1頭当たり120千円以内とする。
- (2) 自家保留牛…①飼養する繁殖牛の産子で、別に定める審査会で承認を受けた雌牛の保留に対し補助する。  
 ②単年度対象頭数は40頭を基準とする。  
 ③1戸当たり単年度対象頭数は5頭以内とし、飼養する繁殖牛が59頭に達する場合はその範囲内とする。  
 ④対象農家は、繁殖牛(12ヵ月齢以上)59頭以下の飼養農家とし、基準日は平成28年1月31日とする。  
 ⑤1頭当たりの補助対象限度額は125千円とする。

負担区分	町	J A	受益者
繁殖素牛	500,000円	100,000円	1,400,000円
自家保留牛	1,700,000円	2,550,000円	—
合計	2,200,000円	2,650,000円	1,400,000円



# 黒毛和牛素牛 市場販売成績

(平成28年1月市場～4月市場)

平成28年に入っても黒毛和牛の素牛市場は、活況が続いております。そのことを象徴するように2月から4月の3市場連続で、去勢牛の最高価格が大台となる100万円を突破しております。(※取引結果については、守平町・ホクレン南北海道市場でのもの。)

## 平成28年1月市場 (1月6日開催)

販売頭数 56頭 (去勢 39頭 めす 17頭)  
 販売金額 42,822,000円 (去勢 30,930,120円 めす 11,891,880円)  
 平均価格 764,679円 (去勢 793,080円 めす 699,522円)  
 最高価格 去勢 976,320円 (東静内地区 片岡博さん販売)  
 めす 773,280円 (川合地区 大城康伸さん販売)

## 平成28年2月市場 (2月4日開催)

販売頭数 74頭 (去勢 48頭 めす 26頭)  
 販売金額 59,773,680円 (去勢 40,955,760円 めす 18,817,920円)  
 平均価格 807,752円 (去勢 853,245円 めす 723,766円)  
 最高価格 去勢 1,016,280円 (東静内地区 片岡博さん販売)  
 めす 806,760円 (浦和地区 (有)八田牧場販売)

## 平成28年3月市場 (3月2日開催)

販売頭数 74頭 (去勢 36頭 めす 38頭)  
 販売金額 59,478,840円 (去勢 31,227,120円 めす 28,251,720円)  
 平均価格 803,768円 (去勢 867,420円 めす 743,466円)  
 最高価格 去勢 1,109,160円 (農屋地区 (有)大川農場販売)  
 めす 921,240円 (西川地区 船越孝子さん販売)

## 平成28年4月市場 (4月6日開催)

販売頭数 65頭 (去勢 36頭 めす 29頭)  
 販売金額 58,229,280円 (去勢 34,987,680円 めす 23,241,600円)  
 平均価格 895,835円 (去勢 971,880円 めす 801,434円)  
 最高価格 去勢 1,211,760円 (田原地区 渡辺隆さん販売)  
 めす 879,120円 (豊畑地区 原忠夫さん販売)

5年連続となる快挙!

「分挽間隔・飼養管理技術の部」全道1位を獲得

公益社団法人全国和牛登録協会が実施する認定和牛改良組合表彰の「分挽間隔・飼養管理技術の部」で、新ひだか町静内和牛生産改良組合が、5年連続となる全道1位を獲得しました。

同組合では、1113頭の繁殖牛で、全国の平均分挽間隔420・0日に対し、392・2日を達成しており、今回表彰された全国5組合のうちでは、第3位の成績で、全道では前述の通り、第1位という成績でした。

また、今回受賞した5組合については、兵庫県で2組合、北海道で3組合となっておりますが、北海道で受賞したのが、同組合に加えて、浦河町和牛生産改良組合、新冠町和牛生産改良組合と同じ日高管内の3組合が同時に受賞し、日高の黒毛和牛生産者の飼養管理技術の高さを示す結果となりました。

今回の受賞は、同組合が関係機関から講師を招き、積極的に飼養管理技術の向上、習得に取り組み続けた結果となっております。

渡辺隆組合長は「今年度の目標は販売金額5億3000万円、同組合の青年部活動の強化と新規就農者の誘致を進め、繁殖牛の頭数を全体で1500頭を目指していきたい」と抱負を話してくれました。



渡辺組合長を中心に右から浦河町和牛生産改良組合の福田正昭組合長、新冠町和牛生産改良組合の青木真一組合長となっています。

## 融資課から JAフルスペックローンは比較的小口の設備投資に 対応する資金で農業経営をご支援します！

- 農機具の購入、修理・点検費用に
- ビニールハウスの資材・設置費用に
- 農機具格納庫の建設費用などに
- JA以外から借入している農機具資金の借換に

### 1. JAフルスペックローン商品概要

- **ご利用頂ける方**…当JAの正組合員（正組合員が構成員となる団体を含む）
- **ご融資金額**…事業費の範囲内とします。
- **ご融資の利率**…当JAの定める利率とします。（3年間で最大1%の利子助成があります。）
- **ご返済期間**…1年以上10年以内とします。（原則、耐用年数以内）なお、後継者が就農している場合を除き、最終償還日の年齢が満72歳を超えることはできません。
- **担保保証人**…原則、無担保・無保証人とし、北海道農業信用基金協会の保証（保証料はお客様負担となります）をご利用頂きます。なお、法人経営（団体を含む）の場合は、構成員（株主または出資者）の個人連帯保証が必要となります。※ご融資金額の状況によって、担保いただく場合があります。

### 2. ご融資までの流れ

必要な書類をご用意→お申込み→JAで審査→貸付の決定→ご融資に係る関係書類の作成→ご融資  
※審査の結果、ご希望に添いかねる場合もございますので、予めご了承ください。

**問い合わせ先** JAしずない経営融資部融資課(担当：阿部) TEL 0146-42-1051

## 理事会報告

### 12月理事会（24日）

1. 理事者に対する資金の貸付及び平成28年クミカン取引について
2. 新規就農者に係るクミカンの利用について
3. 規定類の改正及び新設（案）について

### 1月理事会（18日）

1. 長期資金（借換）の貸付について
2. 平成28年度基本方針と重点実施事項について
3. 平成28年度貸付金利率の最高限度について
4. 平成28年度信用供与等の最高限度額について
5. 平成28年度理事者に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の具体的包括承認について

### 1月理事会（29日）

1. 平成27年度決算見込みについて
2. 今後の資金運用方針及び月次資金協議実施要領の設定について
3. 規定類の改正（案）について

4. 平成27年度優良繁殖牝馬導入促進事業（案）について

### 2月理事会（24日）

1. 特別対策農家の資産処分について
2. 平成27年度事業報告及び未処分利益剰余金の処分（案）について
3. 平成28年度事業計画（案）について
4. 平成28年度固定資産の取得及び処分（案）について
5. 平成28年度役員報酬について
6. 平成28年度職員の定員及び職員給与の改正（案）について
7. 平成27年度内部監査結果報告及び平成28年度内部監査計画について
8. コンプライアンスプログラム平成27年度結果報告及び平成28年度計画について
9. 平成28年度余裕金の預入先について
10. 外部出資（代位弁済履行に伴う特別出資金）の増資について
11. 平成28年度営農計画書の審査方針及び規準表の設定について
12. 規定類の改正（案）について
13. 道の検査指摘事項に対する回答について

# 平成28年度の ホッカイドウ競馬 が開幕しました！

## ホッカイドウ競馬



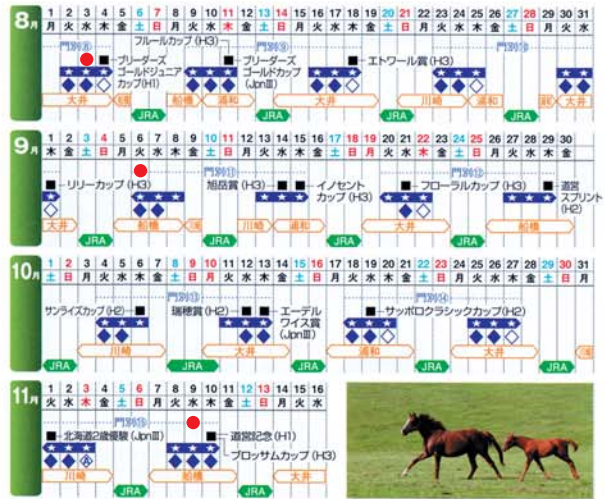
News Vol. **10**

4月20日から今年度のホッカイドウ競馬が開幕しています。今年度からは「第2期北海道競馬推進プラン」に沿って、ホッカイドウ競馬の新たな魅力の発信が行われていきます。

昨年度も皆さんからの多数の応援もあり、ホッカイドウ競馬は3年連続の黒字収支となりました。

ホッカイドウ競馬は、馬産地日高にとって非常に重要な産業です。今年度も皆さんの応援を宜しくお願いします。

### ホッカイドウ競馬 開催日程



### Aiba祭 開催日程

今年度のAiba祭の日程は、以下の通りとなっております。多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

**5月31日(火) 9月6日(火)**  
**8月3日(水) 11月9日(水)**

※カレンダーの●印はAiba祭開催日

## 平成28年度 軽種馬市場開催日程

今年度の軽種馬市場の開催日程が、以下の通りとなっておりますので、お知らせ致します。

開催日	市場	対象	会場
5月16日(月)	千葉サラブレッドセール	2歳	船橋競馬場
5月24日(火)	北海道市場トレーニングセール	2歳	JRA札幌競馬場
7月5日(火)	八戸市場	1歳	八戸家畜市場
7月11日(月)	セレクトセール2016	1歳	ノーザンホースパーク
7月12日(火)	セレクトセール2016	当歳	
7月19日(火)	北海道市場セレクションセール	1歳	JBBA北海道市場
8月22日(月)～25日(木)	北海道市場サマーセール	1歳	JBBA北海道市場
10月3日(月)～5日(水)	北海道市場オータムセール	1歳	JBBA北海道市場
10月19日(水)	ジェイエス繁殖馬セール	繁殖	JBBA北海道市場